

分娩監視装置「アクトカルディオグラフ」3式 仕様書

- ・ 外測法により胎児心拍数、胎動、陣痛強度を計測できること。また、双胎児の心拍数・胎動を計測できること。
- ・ 胎動は、自動胎動検出ドットの印字記録と胎動スパイク波形の印字記録ができ、双胎児に対応できること。
- ・ 記録紙の送り速度を 30mm, 20mm, 10mm/分のいずれかで設定できること。
- ・ 計測データの記録に先立ち、患者情報・計測日・時刻等をトップシートに印字する機能を有すること。
- ・ 7.0 インチのカラータッチパネル液晶ディスプレイを有しており、計測データの数値表示、または CTG トレンド波形表示の切り替え表示ができること。
- ・ 頻脈・徐脈胎児心拍警報機能を備え、心拍警報検出時は警報音を発し、ディスプレイに報知する機能を有すること。
- ・ タイマ設定時間が経過するとレコーダ記録を自動終了するタイマ機能を備えていること。また、タイマを 10 分から 60 分まで 10 分単位で設定できること。
- ・ 安定した胎児心拍を計測したときに自動で記録紙の印刷が開始するオート NST タイマ機能を有すること。
- ・ 陣痛強度情報から陣痛周期を自動算出し、ディスプレイに表示、および記録紙への印字ができる機能を有すること。
- ・ 本体内蔵のメモリ機能により、最大 15 時間分の CTG データを自動的に保存ができ、保存した CTG データの波形をディスプレイに表示できること。また、保存された CTG データは記録紙に印字が可能で外部メモリに保存できること。

- ・子宮口開大、展退度、下降度の内診所見を入力することができ、ディスプレイに表示、および記録紙に印字ができること。
- ・破水等のイベントを入力することができ、イベントが起きた時間をディスプレイに表示することができること。
- ・胎児・母体の計測データは既設の分娩監視セントラルシステムへ送信できること。
- ・既設の分娩監視セントラルシステムと時刻同期が取れる機能を有すること。
- ・分娩監視装置にバーコードリーダーを装備し、計測時に読み取り操作をすることにより、他システムから取得した患者情報を既設の分娩監視セントラルシステムへ自動送信できること。
- ・分娩監視セントラルシステムと情報連携することができ、取得した患者情報(ID等)は、記録紙へ印字できる機能を有すること。
- ・母体の血圧測定 iNIBP 機能を有し測定値をディスプレイに表示ができ、記録紙へ印字できること。
- ・母体の SP02 測定機能を有し測定値をディスプレイに表示ができ、記録紙へ印字できること。
- ・専用架台を有すること。

以下「アクトカルディオグラフ」 1式構成内訳

アクトカルディオグラフ AA0613 MT-610(W) 1台

MT-610用マルチカート AA0175 JC-175 1台

エクステンションユニット AA0110 MP-110 1台

エクステンションユニット取付セット AA2207 JC-175用 1台

エクステンションユニット用ユーティリティボックスセット AA2209 1台

S p O 2 モニタリユーザブルセット GA1269 1式

MT-610用双児セット GA1770 1個

バーコードリーダー（ロングレンジ） AA1778 1台

バーコードリーダー取付ユニット JA1945 1式

2次コードASSY（RJ45-FAコン／3m） JA1559 1本